

日付	事象(事実)	モーリシャス政府発表	日本政府発表	船主等発表	日本国内報道(日本海事新聞)	日本国内報道(その他)	海外情報・報道	その他
7月25日(土)	W号がインド洋モーリシャス沖で座礁							
8月3日(月)		7/25、W号がPointe d'Esnyで乗揚。7/30よりサルベージチームが活動中。W号乗組員とサルベージチームはCOVID検査対象だったが陰性。7/26に現場実施した水質検査では油流出を認めず。7/26より国家油濁緊急時対応計画発動。沿岸警備隊によりオイルフェンス332m展張済、予防措置として500m追加展張予定。水質は毎日検査されており、7/31も油・グリスは検知されず。W号とSmit Salvageの現地代理人としてRogers Shipping Ltdが指定、1隻目のタグは既に到着、2隻目は8/3に、4隻目も8/10に到着予定。現地の52名の漁民が影響を受けており、保険請求を政府が取りまとめ中。 http://www.govmu.org/English/News/Pages/Grounding-of-MV-Wakashio-at-Pointe-D%E2%80%99Esny-salvage-team-and-first-tug-PSV-Stanford-Hawk-in-Mauritius.aspx						
8月4日(火)								
8月5日(水)								
8月6日(木)	船体に亀裂が発生 燃料油の流出開始 ジャグナット首相が環境緊急事態宣言を出し、国際支援を要請した							
8月7日(金)		8/6の記者会見での発表。政府はW号からの流出油に全力を挙げており、環境脆弱エリアを保護するため400個のオイルフェンスを展張済み。W号乗揚海域はラムサール条約指定の脆弱エリアで、船体に亀裂が発生してから追加オイルフェンスの展張、状況監視のための現場指揮所を設置。民間事業者ヘラグーンへの漏洩を最小化するチームへの参加を促す。近隣諸国からの援助を求めるとともに、フランス当局とPolmar planの発動について話し合いを始める。 11名のサルベージチームが船体確保のために活動していたが、船体に亀裂が発生したため離脱。しかしながら燃料油を早期に抜き取るための計画策定作業を実施。 3894の燃料を早期に抜き取る事が最優先で、ギリシャからの必要機材がまもなく到着予定。 http://www.govmu.org/English/News/Pages/Government-is-taking-necessary-actions-to-contain-oil-spill-from-MV-Wakashio.aspx		W号7/25 19:25に座礁。離礁を試みていたが悪天候で作業捗らず、8/6 08:00に機関室右舷側燃料タンクに亀裂が生じて燃料油流出 商船三井1報: https://www.mol.co.jp/pr/2020/20046.html 長鋪汽船1報: https://www.nagashiki-shipping.jp/2020/08/08/%E3%81%8A%E7%9F%A5%E3%82%89%E3%81%9B/				
8月8日(土)	国際災害チャータ発動							Oil Spill in Mauritius (国際災害チャータ) https://disasterscharter.org/ja/web/guest/activations/-/article/oil-spill-in-mauritius-activation-666-
8月9日(日)			日本から国際緊急援助隊・専門家チーム6名(外務省1・海上保安庁4・JICA1)派遣。8/10出発 外務省: https://www.mofa.go.jp/mofaj/pr/ess/release/press6_000651.html 海上保安庁: https://www.kaiho.mlit.go.jp/info/kouhou/r2/k200809/k200809.pdf JICA: https://www.jica.go.jp/information/jdrt/2020/200809.html					
8月10日(月)				長鋪汽船、油濁専門組織とサルベージ業者と契約(日付不明)。モーリシャス当局、2隻のタンカーとタグボートを手配。タンカー1隻が本船横付け、燃料油抜き取り継続。 ITOPFが船主及び政府に引き続きアドバイス。 長鋪汽船2報: https://www.nagashiki-shipping.jp/2020/08/10/当社船座礁及び油濁発生に伴う件-第2報/				

日付	事象(事実)	モーリシャス政府発表	日本政府発表	船主等発表	日本国内報道(日本海事新聞)	日本国内報道(その他)	海外情報・報道	その他	
8月11日(火)		<p>サルベージ会社からの日報について。 7/30: 船体安定、亀裂はなかった。タンク頂部に被害はなく、船体周囲に漏出の兆候はなかった。 7/31: 時化により船首方向が変わる。船体劣化・油流出は確認されず。タンク頂部・甲板に損傷はなく、亀裂の兆候もなし。マダガスカル周辺のPSV Stanford HawkがSMIT Salvageにより航路変更し現場へ。 8/1: 継続監視。 8/2: フォアピークタンク、6つのバラスト水タンクと機関室に浸水、パイプダクトに浸水があったがこの時点で油流出リスクは低かった。海上荒天と油採取時のパイプ破損リスクから油採取は推奨されなかった。油流出リスクを低くするため、船底タンクの油はサルベージによって高い位置のタンクに移送された。 8/3: 海上荒天と5mの波によりタグがW号と係船できず。荒天のためW号が70m移動し、サルベージが右アンカーを投下し移動防止措置を講じた。 8/4: 海上荒天と5mの波によりタグがW号に係船できず。移動を防止するためW号のNo.6タンク80%を海水で満たすことが造船技師から推奨され、サルベージにより実施された。 8/5: プロペラ軸潤滑油と思われるわずかな油以外の油流出は認められず。サルベージによれば油流出リスクは低いとされていた。9つの貨物艙のうち1つが船体安定のため漲水され、このことにより船体が後方に傾斜。しかしながら、W号の再浮上前にパイプから油を移送することが検討された。</p> <p>7/26から8/6まで実施された国立環境研究所による5ヶ所での採水・分析結果では炭化水素は検知されなかった。 8/6: 高波による継続した外力によって船体構造が劣化、油流出のリスクが顕在化する。燃料油タンクからの継続漏洩により、Tier 3油流出となる。国家油流出緊急時計画によりTier 3で油被害軽減を含む環境緊急事態が宣言された。 国連、欧州機構、オーストラリア・フランス・インド・日本・南アフリカへの援助を外務省を通じて実施。 2007年海運法(Merchant Shipping Act 2007)により予備調査が実施。予備調査後、調査委員会が設置される予定。 http://www.govmu.org/English/News/Pages/MV-Wakashio-Daily-progress-reports-submitted-by-salvage-master-says-Minister-Maudhoo.aspx</p> <p>8/10、Roopun大統領とRamano環境相によるBlue Bay Marine Parkの現地視察実施。また、大統領はBlue-Bay漁業局の国家緊急事態委員会に出席、油流出への懸念とともに「環境への重大な被害」であることを付け加えた。また、COVID-19下で専門家の移動が制限されていること、過去半月の気象状況が悪かったことが不幸であったことも指摘。モーリシャスのために行動してくれている友好国に謝意。また、警察と数百人のボランティアの貢献に謝意。 Ramano環境相は海上荒天のため中止になっていた船体からの油採取が再開されたことを述べる。W号の最初の劣化したタンクは完全に空になり、他のタンクも維持されており、採取を継続する予定。W号からは550-600トンの油が既に抜き取られた。 http://www.govmu.org/English/News/Pages/MV-Wakashio-Site-visit-effected-by-President-Roopun-at-the-Blue-Bay-Marine-Park.aspx</p>	<p>国際緊急援助隊、8/11午後現地着、支援活動を開始 在モーリシャス日本国大使館: https://www.mu.emb-japan.go.jp/itpr_ja/11_000001_00071.html</p> <p>赤羽大臣会見要旨(国土交通省) https://www.mlit.go.jp/report/interview/dajin200811.html</p>	<p>W号は重油3800MT、軽油200MTを保有。8/11早朝までに重油1020MTを抜き取り回収(回収作業継続)、破損タンク内1180MTのうち船外流出推定1000MT、そのうち推定460MTを手作業で回収本船は自力航行不能 MOL社員6名を8/11に現地へ派遣 長鋪汽船2名を8/11に現地へ派遣 商船三井2報: https://www.mol.co.jp/pr/2020/20047.html 長鋪汽船3報 https://www.nagashiki-shipping.jp/2020/08/11/%E5%BD%93%E7%A4%BE%E8%88%B9-%E5%BA%A7%E7%A4%81%E5%8F%8A%E3%81%B3%E6%B2%B9%E6%BF%81%E7%99%BA%E7%94%9F%E3%81%AE%E4%BB%B6%3%80%80%E7%AC%3%E5%A0%B1/</p>				<p>国連専門家が8/11到着 フランス政府、1300mのオイルフェンスやポンプ類、防護装備など20tの専門資機材と専門家を仏領レユニオンから輸送 https://www.france24.com/en/20200811-un-experts-arrive-in-mauritius-to-assist-in-oil-spill</p> <p>ITOPFの専門家がアドバイザーとして活動中、船主側保険とモーリシャス政府対応チームへ助言 https://www.itopf.org/news-events/news/article/oil-spill-in-mauritius/</p>	
8月12日(水)					<p>【モーリシャス座礁事故】 国際援助隊を派遣。政治判断、海事局長「道義的責任」 https://www.jmd.co.jp/article.php?no=259785</p> <p>長鋪汽船・商船三井、「油の回収に全力」。共同会見で陳謝 https://www.jmd.co.jp/article.php?no=259784</p> <p>長鋪汽船・商船三井、共同会見一問一答。流出・漂着油回収に全力 https://www.jmd.co.jp/article.php?no=259790</p>			<p>油濁事故へのおくりやみ(パナマ海事庁) https://amp.gob.pa/notas-de-prensa/autoridad-maritima-de-panama-lamenta-accidente-de-la-nave-japonesa-wakashio-en-mauricio/</p>	
8月13日(木)		<p>8/12の記者会見での発表。政府はW号からの漏油防止のためのありとあらゆる方策を講じており、残りの166トンの燃料油を抜取る予定。4180トンの燃料油がW号に搭載され、3184トンが採取され、約800トンがタンク破口から漏出。166トンがW号のどこかに残っており近々採取する予定。サルベージによってバッテリーなどの重要備品の取り外しも実施中。専門家の指導によりオイルフェンスの展開も実施中。直接的・間接的に油防除・油採取に貢献している方々へ謝意。 Ilot MangenieとIle-aux-Cerfs島への燃料油航跡はなく、Blue Bay Marine Parkは充分保護されている。W号乗揚の事故調査は既に開始されており、まもなく完了し必要な措置がとられる。幼稚園、小学校、中学校は予備的に閉鎖されていたが8/13より再開される。 乗揚日からBlue Bay Marine Park、Ile aux Aigrettesとラムサールサイトにオイルフェンスが展開されている。W号周辺の漏油防止オイルフェンスは荒天のため崩壊している。 http://www.govmu.org/English/News/Pages/MV-Wakashio-Only-166-tonnes-of-fuel-oil-left-to-be-pumped-out-says-PM.aspx</p>		<p>船外流出油1000MTを除き本船上に残っていた油(推定3000MT)は8/12までにほぼ全量を回収できたとみられる オイルフェンス1520m展開(追加配備計画あり)、特殊な流出油対応機器も投入されている(スキマー、ポンプ、吸着剤など) 本船8番貨物艙付近の亀裂が進行、船体前部が漂流しないようタグボートと繋船 商船三井3報: https://www.mol.co.jp/pr/2020/20048.html 長鋪汽船4報: https://www.nagashiki-shipping.jp/2020/08/13/%E5%BD%93%E7%A4%BE%E8%88%B9-%E5%BA%A7%E7%A4%81%E3%81%8A%E3%82%88%E3%81%B3%E6%B2%B9%E6%BF%81%E7%99%BA%E7%94%9F%E3%81%AE%E4%BB%B6-%E7%AC%4%E5%A0%B1/</p>	<p>モーリシャス座礁、過失有無など焦点。船主責任制限条約、賠償上限19億円 https://www.jmd.co.jp/article.php?no=259826</p> <p>モーリシャス座礁事故、流出重油の約半分回収 https://www.jmd.co.jp/article.php?no=259835</p>				

日付	事象(事実)	モーリシャス政府発表	日本政府発表	船主等発表	日本国内報道(日本海事新聞)	日本国内報道(その他)	海外情報・報道	その他
8月14日(金)			海上保安庁tweet(現地活動状況): https://twitter.com/JCG_koho/status/1294222949315051520 https://twitter.com/JCG_koho/status/1294224444206936064		【モーリシャス座礁】 バンカー条約の対象に。保険会社に直接請求可能 https://www.jmd.co.jp/article.php?no=259856 【モーリシャス座礁】 IMOなど専門家派遣 https://www.jmd.co.jp/article.php?no=259855			事故調査は海洋事故調査コード(Code for the Investigation of Marine Casualties and Incidents)に従って実施(パナマ海事庁) https://amp.gob.pa/notas-de-prensa/el-registro-panameno-de-naves-cumple-con-todos-los-requerimientos-internacionales-en-materia-de-investigacion-del-barco-wakashio/
8月15日(土)	船体が2つに分断		大使・大使館職員、清掃活動へ参加 https://www.mu.emb-japan.go.jp/itpr_ja/11_000001_00073.html モーリシャスに対する海上保安能力向上のための無償資金協力(8/14署名) https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press1_000375.html					パナマ海事庁と日本船主協会のグループが明日現地渡航、モーリシャス政府に協力(パナマ海事庁) https://amp.gob.pa/notas-de-prensa/registro-de-buques-de-panama-y-expertos-japoneses-cooperan-con-las-autoridades-de-isla-mauricio-en-el-caso-de-la-nave-wakashio/
8月16日(日)				8/15 14:00 本船が2つに分断したことが確認される。船首部分は当局から沖合曳航の指示を受ける燃料油以外の残油の一部(未回収)が船外流出 本船周囲・陸上漂着油の回収進行 乗組員からの聴取は当局聴取終了後長鋪汽船が改めて実施 MOL・長鋪ともに現地派遣した社員が14日間の行動制限を受ける(8/26まで)、情報収集・折衝と具体的行動計画の検討に注力 商船三井4報: https://www.mol.co.jp/pr/2020/20049.html 長鋪汽船5報: https://www.nagashiki-shipping.jp/2020/08/16/%E5%BD%93%E7%A4%BE%E8%88%B9-%E5%BA%A7%E7%A4%81%E3%81%8A%E3%82%88%E3%81%B3%E6%B2%B9%E6%BF%81%E7%99%BA%E7%94%9F%E3%81%AE%E4%BB%B6-%E7%AC%AC5%E5%A0%B1/				
8月17日(月)		8/16の記者会見。フランス海外領土相Sebastien Lecornu氏がモーリシャスを訪問、モーリシャス当局が正しい判断を行うよう述べる。(以下Lecornu氏の発言)フランスはモーリシャス支援のための全ての援助を行う。3人の専門家をモーリシャス当局の意思決定支援のために派遣。フランスは状況変化を注意深く観察しており、フランスはこのような事態に対して十分な対応能力がある。これまでの教訓があり航行船の多いインド太平洋海上ルートにおける協力関係を維持することが重要である。W号乗揚を契機に、生物多様性や海上安全に対する影響を再評価するべきである。影響を受けた地域の適切なクリーンアップには最低10ヵ月かかるだろう。 Ramano環境相は、モーリシャスには助言と専門家による活動が必要であり、専門家による社会面・経済面・環境面での影響の評価方法構築が必要と述べた。また、モーリシャスの呼びかけに対応してくれたフランスをはじめとする国々に謝意。 現時点で残った3000トンの油が採取られ、90トンが未だ船内に残っている。 W号の漏洩には、SMIT Salvageと日本サルベージが対応しており、船首3分の2を2隻のタグボートで曳航し沿岸への更なる被害を最小化させようとしている。残りの部分は専門家の助言によって意思決定がなされる。 http://www.govmu.org/English/News/Pages/MV-Wakashio-French-Minister-confident-about-Mauritian-authorities-taking-right-decision-.aspx 8/16午後、フランス海外領土相Sebastien Lecornu氏、首相と面会。W号に関して意見交換。 http://www.govmu.org/English/News/Pages/MV-Wakashio-French-Minister-Lecornu-meets-the-Prime-Minister.aspx 8/17、Bodha外務相、国連専門家による会談。国連専門家チームは22名、法的活動と油防除作業の支援を実施。 http://www.govmu.org/English/News/Pages/MV-Wakashio-oil-spill-UN-delegation-of-experts-to-assist-Mauritius.aspx 8/16、インド政府により30トンの油防除資機材を乗せたインド空軍の航空機がモーリシャスへ到着。資機材は海洋・河川用オイルフェンス、ディスク・ヘリスキマー、パワーバック、ブローワー、回収バージ、油吸着マットその他。インドコーストガードから油防除の訓練を受けた10名の専門家も同じ航空機で到着。インドの人道・災害支援は2015年Modi首相のモーリシャス訪問により構築、両国間の緊密な関係を反映している。 http://www.govmu.org/English/News/Pages/India-assists-Mauritius-in-dealing-with-marine-environmental-emergency.aspx	日本から国際緊急援助隊・専門家チーム(二次隊)7名派遣。 8/19出発 環境省: http://www.env.go.jp/press/108340.html (環境省2名、国立環境研究所2名) JICA: https://www.jica.go.jp/informatio/n/jdrt/2020/200817.html	モーリシャス沿岸における油流出事故への対応(外洋) 在モーリシャス日本国大使館: https://www.ci.emb-japan.go.jp/files/100084758.pdf	【モーリシャス座礁】 邦船オペ、用船 安全意識高まる。検船強化も https://www.jmd.co.jp/article.php?no=259910 【モーリシャス座礁】 パナマ海事庁、IMOに調査報告 https://www.jmd.co.jp/article.php?no=259909 【モーリシャス座礁】 長鋪汽船、「法に基づき誠意で対応」。モーリシャス政府賠償請求 https://www.jmd.co.jp/article.php?no=259908		Jugnauth首相が議長を務める国家危機管理会議後の発表では、船主側船体を8海里沖合の水深2000mへ沈没させる予定(Marine Log) https://www.marinelog.com/shipping/salvage/mauritius-bow-of-grounded-bulker-to-be-towed-out-to-deep-water/	MV Wakashioの油濁被害を軽減するための援助について(IMO) http://www.imo.org/en/MediaCentre/PressBriefings/Pages/24-MV-Wakashio-oil-spill-response-Mauritius.aspx SNSで流れる「海事業界が危険である」旨のビデオに対する声明(パナマ海事庁) https://amp.gob.pa/notas-de-prensa/registro-de-buques-de-panama-responde-de-manera-contundente-a-video-que-busca-empanar-su-imagen/

日付	事象(事実)	モーリシャス政府発表	日本政府発表	船主等発表	日本国内報道(日本海事新聞)	日本国内報道(その他)	海外情報・報道	その他
		8/14、Obegadoo副首相が、ラグーンの安全確保に全力を投入する必要、そして政府は本件が長期間にわたることを認識している声明を発表。 http://www.govmu.org/English/News/Pages/Wrecking-of-MV-Wakashio-The-worse-is-behind-us,-states-DPM.aspx						
8月18日(火)	船長・一等航海士が当局により逮捕される。	8つの沿岸警備隊事務所にレーダーとAISによる監視システムを構築。モーリシャスEEZにおけるMDA活動を目的。 http://www.govmu.org/English/News/Pages/Coastal-Surveillance-Radar-System-implemented-across-eight-NCG-Stations.aspx	国際緊急援助隊・専門家チーム(二次隊)7名派遣の件の外務省プレスリリース 外務省: https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_008680.html	8/17現在、燃料油以外の潤滑油・残渣が30立米残っていると推定。天候の回復を待って引き続き回収作業実施。海岸漂着油は関係当局・地元ボランティア・船首手配の油濁清掃業者により回収進行。 長鋪汽船6報: https://www.nagashiki-shipping.jp/2020/08/18/%E5%BD%93%E7%A4%BE%E8%88%B9-%E5%BA%A7%E7%A4%81%E5%8F%8A%E3%81%B3%E6%B2%B9%E6%BF%81%E7%99%BA%E7%94%9F%E3%81%AE%E4%BB%B6-%E7%AC%AC6%E5%A0%B1/	モーリシャス座礁、海難残骸物、船主協力で処理へ。ナイロビ条約批准問われず https://www.jmd.co.jp/article.php?no=259947	モーリシャス 貨物船はこう座礁した 航路分析からわかったこと(NHK) https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200818/k10012572251000.html WAKASHIO航跡と環境汚染を追う(日本経済新聞) https://vdata.nikkei.com/newsgraphics/wakashio/ 油だけを吸着する日本製の吸着剤 モーリシャスの現場へ(NHK) https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200818/k10012572701000.html	船長・一等航海士、逮捕(Maritime Executive) https://www.maritime-executive.com/article/mauritius-arrests-officers-and-tows-wakashio-as-questions-persist 船長逮捕(船長実名報道)(BBC) https://www.bbc.com/news/world-africa-53819112	
8月19日(水)	船体前方部分が離礁、当局指定海域に曳航される		海上保安庁によるモーリシャス沿岸警備隊に対する支援 在モーリシャス日本国大使館: https://www.mu.emb-japan.go.jp/files/100085307.pdf	8/18、船長・一等航海士が当局により逮捕されたことを確認。 MOL手配の油吸着材ほか海岸清掃用資材は8/21以降複数回で現地到着予定。人員追加派遣を8月末目途に実施予定。 商船三井5報: https://www.mol.co.jp/pr/2020/20050.html 長鋪汽船7報: https://www.nagashiki-shipping.jp/2020/08/19/%E5%BD%93%E7%A4%BE%E8%88%B9-%E5%BA%A7%E7%A4%81%E5%8F%8A%E3%81%B3%E6%B2%B9%E6%BF%81%E7%99%BA%E7%94%9F%E3%81%AE%E4%BB%B6-%E7%AC%AC7%E5%A0%B1/	【インタビュー モーリシャス座礁】 ナホトカ号事故の担当者に聞く:公益財団法人「海と渚環境美化・油濁対策機構」専門家(海上災害防止センターOB)・佐々木邦昭氏。初の「規制適合油」流出ケース、低硫黄油 回収方法に影響も https://www.jmd.co.jp/article.php?no=259981		Mauritius oil spill: Satellite images show removal operation (BBC) https://www.bbc.com/news/world-africa-53831687 日本語: https://www.bbc.com/japanese/53844233 日本の専門家(第二陣)について (Al Jazeera) https://www.aljazeera.com/news/2020/08/japan-sends-team-mauritius-damaging-oil-spill-200819035227177.html	ショッキングなモーリシャスでの油流出(国際マングローブ生態系協会) http://www.mangrove.or.jp/japanese/subpage/oil_spill_mauritius.html
8月20日(木)		W号流出油に係る損害請求のためのモーリシャス政府による電子プラットフォームが稼働開始 http://www.govmu.org/English/News/Pages/E-Platform-launched-to-facilitate-submission-of-claims-regarding-loss-caused-by-MV-Wakashio.aspx (電子プラットフォーム: http://blueeconomy.govmu.org/English/Pages/Claims-for-MV-Wakashio.aspx) 国連がW号被害の回復基金を設定予定 http://www.govmu.org/English/News/Pages/Recovery-Fund-to-be-set-up-by-the-UN-to-support-Mauritian-Fishermen.aspx	「WAKASHIO」の油流出事故への寄付・ボランティアについて 在モーリシャス日本国大使館: https://www.mu.emb-japan.go.jp/itpr_ja/11_000001_00078.html JICA緊要援助隊事務局tweet(8/19、専門家チーム2次隊出発): https://twitter.com/jdr_secretariat/status/129632365229541888 海上保安庁tweet(現地活動状況): https://twitter.com/JCG_koho/status/1296417533797572608 https://twitter.com/JCG_koho/status/1296421710388961281		【モーリシャス座礁】 長鋪汽船、「船長逮捕」で報告。商船三井は追加派遣 https://www.jmd.co.jp/article.php?no=260011 【船の守護神 P&I保険】 (9):ガードジャパン代表・杉本忠。個別事例・油濁事故 1.:填補対象、慎重な査定で確定 https://www.jmd.co.jp/article.php?no=259996		モーリシャス、英国専門家の援助により座礁船船首部を16:00より沈める予定(Maritime Executive) https://www.maritime-executive.com/article/mauritius-proceeds-to-scuttle-wakashio-with-support-from-british-team モーリシャス、座礁船を海に沈めて処分へ 環境保護団体は反対(ロイター) https://af.reuters.com/article/mauritiusNews/idAFL8N2FM56U 日本語: https://jp.reuters.com/article/mauritius-environment-japan-idJPKCN25G03L Japan criticized for weak presence in responding to Mauritius oil leak(The Japan Times) https://www.japantimes.co.jp/news/2020/08/20/national/mauritius-oil-leak-japanese-response Insurers mull over Wakashio questions (Seatrade Maritime News、日海防LROニュース経由) http://www.nikkaibo.or.jp/lro-news/2020-08-25/lro%3%83%8B%E3%83%A5%E3%83%BC%E3%82%B97 https://www.seatrade-maritime.com/casualty/insurers-mull-over-wakashio-questions	

日付	事象(事実)	モーリシャス政府発表	日本政府発表	船主等発表	日本国内報道(日本海事新聞)	日本国内報道(その他)	海外情報・報道	その他
8月21日(金)	船体前方部分の海中投棄作業開始		海上保安庁職員の国際緊急援助隊専門家チームの帰国について 海上保安庁: https://www.kaiho.mlit.go.jp/info/kouhou/r2/k200821/k200821.pdf JICA緊援隊事務局tweet(活動報告): https://twitter.com/jdr_secretariat/status/1296746808668905472	8/19現地時刻00:30、船体前方部分が離礁、モーリシャス政府が指定した海域に曳航される。曳航後は関係当局と確認中。 船体後方部分については関係当局・専門家チームにより撤去計画検討継続。 8/17時点で潤滑油・残渣が30立米残っていると推定、8/20より天候回復したので回収作業再開。 MOLから支援物資ロジのためグループ会社社員1名が8/21出発。物資は8/26現地到着予定。 商船三井6報: https://www.mol.co.jp/pr/2020/20053.html 長鋪汽船8報: https://www.nagashiki-shipping.jp/2020/08/21/%E5%BD%93%E7%A4%BE%E6%94%AF%E9%85%8D%E8%88%B9wakashio-%E5%BA%A7%E7%A4%81%E3%81%8A%E3%82%88%E3%81%B3%E6%B2%B9%E6%BF%81%E7%99%BA%E7%94%9F%E3%81%AE%E4%BB%B6-%E7%AC%AC%8E5%A0%B1/	モーリシャス座礁の損害賠償額、「タンカー」と異なる根拠条約。貨物船の燃油流出、巨額賠償想定せず https://www.jmd.co.jp/article.php?no=260050			
8月22日(土)			JICA広報室(現地レポート) https://www.facebook.com/jicap/posts/3162439453792180 JICA緊援隊事務局tweet(二次隊到着) https://twitter.com/jica_direct/status/1296975373519839233 https://twitter.com/jica_direct/status/1297081072405159936					
8月23日(日)								
8月24日(月)	船体前方部分の海中投棄完了	8/22、メディアによる汚染除去現場の視察が行われる http://www.govmu.org/English/News/Pages/MV-Wakashio-Media-representatives-witness-ongoing-clean-up-operations.aspx						モーリシャスでの日本貨物船座礁・石油流出事故ポータルサイト(アフリカ日本協議会) https://ajf.gr.jp/mauritius-oilspilldisaster/
8月25日(火)			赤羽国土交通大臣会見要旨 https://www.mlit.go.jp/report/interview/dajin208025.html 小泉大臣記者会見録(環境省) https://www.env.go.jp/annai/kaiken/r2/0825.html JICA広報室(現地レポート) https://www.facebook.com/jicap/posts/3168035343232591 https://www.facebook.com/jicap.reng/posts/1885823234892744 海上保安庁tweet(8/23職員帰国) https://twitter.com/JCG_koho/status/1298161141915348992 https://twitter.com/JCG_koho/status/1298162375594409984	8/21 21:00、船体前方部分海中投棄作業開始、8/24 15:00海中投棄完了 商船三井・長鋪汽船のCOVID-19行動制限解除、流出油漂着エリア視察、必要物資の情報収集実施 商船三井手配の防除資機材は8/23到着、追加物資も8/26・28の現地着を予定 商船三井7報: https://www.mol.co.jp/pr/2020/20054.html 長鋪汽船9報: https://www.nagashiki-shipping.jp/2020/08/25/%E5%BD%93%E7%A4%BE%E6%94%AF%E9%85%8D%E8%88%B9wakashio-%E5%BA%A7%E7%A4%81%E3%81%8A%E3%82%88%E3%81%B3%E6%B2%B9%E6%BF%81%E7%99%BA%E7%94%9F%E3%81%AE%E4%BB%B6-%E7%AC%AC%9E5%A0%B1/	【モーリシャス座礁】 政府、国際援助隊が帰国。海洋汚染状況を調査 https://www.jmd.co.jp/article.php?no=260142 【記者の視点/柏井あづみ】 モーリシャス座礁事故、船主に求められるESG力強化 https://www.jmd.co.jp/article.php?no=260122	モーリシャス沖 座礁事故から1か月 重油は海流と風で広範囲に(NHK) https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200825/k10012582031000.html?utm_int=news-new_contents_list-items_012		
8月26日(水)		調査裁判所の実施予定について http://www.govmu.org/English/News/Pages/MVWakashioCourt.aspx 油汚染の影響最小化のための国連の回復基金について http://www.govmu.org/English/News/Pages/MV-Wakashio.aspx	JICA広報室(現地レポート) https://www.facebook.com/jicap/posts/3173740829328709 https://www.facebook.com/jicap.reng/posts/1888748947933506		【モーリシャス座礁】 国交相、原因究明など長鋪汽船に指示。商船三井が物資輸送 https://www.jmd.co.jp/article.php?no=260173 【インタビュー モーリシャス座礁、日本の責任範囲】 (上):成蹊大学教授・佐藤義明氏。「海洋国家」としての責任を https://www.jmd.co.jp/article.php?no=260174 【モーリシャス座礁】 ITF、船長逮捕に懸念示す。契約超え長期乗船者も https://www.jmd.co.jp/article.php?no=260200			

日付	事象(事実)	モーリシャス政府発表	日本政府発表	船主等発表	日本国内報道(日本海事新聞)	日本国内報道(その他)	海外情報・報道	その他
8月27日(木)		400人の漁民への食糧供給について(8/26実施、漁民・商業ヨットに対する見舞金についても記載) http://www.govmu.org/English/News/Pages/MV-Wakashio-Distribution-of-food-supplies-to-400-Fishermen.aspx			【インタビュー】 成蹊大学教授・佐藤義明氏。 モーリシャス座礁日本の責任範囲(下)。「海運を止めない」前提に https://www.jmd.co.jp/article.php?no=260222 【記者の視点/山田智史】 安全運航管理、デジタル技術で高度化へ https://www.jmd.co.jp/article.php?no=260222			
8月28日(金)		沿岸と海洋資源の環境モニタリングについて: National Environmental Laboratory, The Albion Fisheries Research Centre, The Mauritius Oceanography InstituteがIMO、UNDP、英国、日本及び地元専門家と実施 http://www.govmu.org/English/News/Pages/Environmental-monitoring-of-terrestrial-and-marine-resources.aspx	小泉大臣記者会見録(環境省) https://www.env.go.jp/annai/kaiken/r2/0828.html	WAKASHIO座礁・油濁事故に関する特設ページを開設(商船三井) https://www.mol.co.jp/info/article/2020/0831.html	海事局長、「民間でも検討を」。造船支援に言及 https://www.jmd.co.jp/article.php?no=260253 モーリシャス事故に関する海事局長コメント https://www.jmd.co.jp/article.php?no=260277			
8月29日(土)								
8月30日(日)								
8月31日(月)		Trou d'Eau DouceからLe Bouchonが漁業・遊泳その他の活動禁止指定(モーリシャス南東部での39匹のイルカ死亡についても言及。イルカには炭化水素の痕跡はなかったが死因特定のため更なる調査予定) http://www.govmu.org/English/News/Pages/Trou-d%E2%80%99Eau-Douce-region-declared-as-a-Restricted-Zone-for-fishing.aspx W号油濁事故に係る首相談話(8/28) http://www.govmu.org/English/News/Pages/MV-Wakashio-Appropriate-containment-and-mitigation-actions-taken,-says-PM.aspx			【Newsクリップ】 商船三井。モーリシャス座礁で特設ページ。油回収支援など現地活動報告 https://www.jmd.co.jp/article.php?no=260307 【国内船主の今】 (231):新造船用船解約可能か。海外オペ契約、不利な条件も https://www.jmd.co.jp/article.php?no=260306			

日付	事象(事実)	モーリシャス政府発表	日本政府発表	船主等発表	日本国内報道(日本海事新聞)	日本国内報道(その他)	海外情報・報道	その他
9月1日(火)		COVID-19からの国境再開に向けた予定について http://www.govmu.org/English/News/Pages/PM-talks-about-the-reopening-of-borders-MV-Wakashio-and-People%E2%80%99s-March.aspx 漁民等への見舞金の支払いについて http://www.govmu.org/English/News/Pages/MV-Wakashio-Solidarity-Grant-of-Rs-10,200-to-those-affected-by-the-oil-spill.aspx	日本から国際緊急援助隊・専門家チーム(三次隊)6名派遣(うち環境省有識者3名)。9/2出発 外務省: https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_008720.html JICA: https://www.jica.go.jp/information/jdrt/2020/200901.html 環境省: https://www.env.go.jp/press/108393.html 小泉大臣記者会見録(環境省) https://www.env.go.jp/annai/kaiken/r2/0901.html	商船三井手配の機材は引き続き9/3到着予定。リーファコンテナが9/11到着予定(通関後漁業従事者に贈呈予定)。8/30に派遣人員第2陣6名が現地着。9/1付で経営企画部に「モーリシャス環境・社会貢献チーム」を設置。2020年10月にモーリシャス駐在員事務所を設置予定。 商船三井第8報: https://www.mol.co.jp/pr/2020/20055.html	【海事弁護士に聞く モーリシャス座礁 損害賠償の論点】 戸田総合法律事務所 弁護士・山本剛也氏、弁護士・青木理生氏。モ政府、異例の請求主体に https://www.jmd.co.jp/article.php?no=260339		清掃作業に従事しているタグで3人死亡(Maritime Executive) https://www.maritime-executive.com/article/tug-involved-in-mauritius-cleanup-sinks-killing-three	
9月2日(水)					【Newsクリップ】 商船三井、モーリシャスに贈呈。リーファコンテナ https://www.jmd.co.jp/article.php?no=260373			
9月3日(木)					【モーリシャス座礁】 政府、専門家ら追加派遣。生態系調査へ https://www.jmd.co.jp/article.php?no=260419 商船三井、会社人事 https://www.jmd.co.jp/article.php?no=260423			
9月4日(金)					川崎汽船、ドライ管理基準など解説。モーリシャス座礁「人ごとではない」。船主連絡会で綾常務 https://www.jmd.co.jp/article.php?no=260454 【モーリシャス座礁】 損害賠償訴訟、船体後部の撤去後か https://www.jmd.co.jp/article.php?no=260456 【ニュース深読み/不定期】 事故後対応にも備えを。モーリシャス座礁問題多岐に https://www.jmd.co.jp/article.php?no=260430			
9月5日(土)								
9月6日(日)								
9月7日(月)			茂木外務大臣とジャグナットモーリシャス首相との電話会談 外務省: https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press6_000668.html		【国内船主の今】 (232):中古売船で地銀融資残高減少へ、船主次第の通信環境 https://www.jmd.co.jp/article.php?no=260507			事故調査協力について(パナマ海事庁) https://amp.gob.pa/notas-de-prensa/delegacion-panamena-de-expertos-en-accidentes-maritimos-asiste-en-investigaciones-sobre-el-accidente-de-la-embarcacion-wakashio-en-isla-mauricio/
9月8日(火)			JICA広報室(現地レポート#5) https://www.facebook.com/jicap/posts/3212953078740817 https://www.facebook.com/jicap.reng/posts/1901090106699390				パナマ、Wakashio事故で不適切な海図とシーマンシップの欠如を指摘(Maritime Executives) https://www.maritime-executive.com/article/panama-cites-improper-charts-and-poor-seamanship-in-wakashio-accident	
9月9日(水)			JICA モーリシャスプロジェクト「気象観測及び予警報能力向上プロジェクト」webページ開設(2018/8に実施合意されていたもの) https://www.jica.go.jp/project/mauritius/001/index.html				Trou-d'Eau-Douce地方の海産物は消費に不向き(lexpress.mu) https://www.lexpress.mu/article/382366/fruits-mer-region-trou-deau-douce-mahebourg-impropres-consommation ブルエコ省プレスリリース全文 https://www.scribd.com/document/475379411/Les-fruits-de-mer-de-la-region-de-Trou-d-Eau-Douce-a-Mahebourg-impropres-a-la-consommation	
9月10日(木)								

日付	事象(事実)	モーリシャス政府発表	日本政府発表	船主等発表	日本国内報道(日本海事新聞)	日本国内報道(その他)	海外情報・報道	その他
9月11日(金)			小泉大臣記者会見録(環境省) https://www.env.go.jp/annai/kaiken/r2/0911.html	モーリシャスの環境回復・地域貢献に向けた商船三井の取り組みについて(今後の取組みの紹介) https://www.mol.co.jp/pr/2020/20057.html メディア向け説明会資料(商船三井) https://www.mol.co.jp/sustainability/incident/index.html				9/28、ウェビナー「モーリシャスと市民連携」を実施(アフリカ日本協議会) https://ajf.gr.jp/20200923-seminar/
9月12日(土)								
9月13日(日)								
9月14日(月)			モーリシャス、国境の段階的再開を発表(JETRO) https://www.jetro.go.jp/biznews/2020/09/250d88057de638d4.html		【モーリシャス座礁】 商船三井・池田社長、「用船者の社会的責任果たす」。環境回復・地域貢献、10億円拠出 https://www.jmd.co.jp/article.php?no=260722 【モーリシャス座礁】 海事局長、国支援の意向を示す。商船三井の取り組み評価 https://www.jmd.co.jp/article.php?no=260718	渡り鳥の“環境”に問題なし モーリシャス座礁(テレビ朝日) https://news.tv-asahi.co.jp/news_society/articles/000193119.html		
9月15日(火)			赤羽大臣会見要旨(国土交通省) https://www.mlit.go.jp/report/interview/dajin200915.html 小泉大臣記者会見録(環境省) https://www.env.go.jp/annai/kaiken/r2/0915.html		商船三井・池田社長、モーリシャス支援会見一問一答。「船主との絆深め、安全品質高める」 https://www.jmd.co.jp/article.php?no=260752			
9月16日(水)					国交相、商船三井のモーリシャス支援、積極的な姿勢評価 https://www.jmd.co.jp/article.php?no=260796			
9月17日(木)				9/10、現地派遣団がモーリシャス首相官邸を表敬訪問。同日清掃資機材引渡式開催。9/11、40ftリーファーコンテナ1本引渡式実施。(商船三井) https://www.mol.co.jp/sustainability/incident/index.html	【モーリシャス座礁 国際緊急援助隊】 海上保安庁国際海洋汚染対策官・武智啓司氏。流出油の防除で貢献 https://www.jmd.co.jp/article.php?no=260819			
9月18日(金)			モーリシャス沿岸における油流出事故に対する国際緊急援助隊の帰国及び今後の取組について(外務省) https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_008770.html モーリシャス沿岸における油流出事故に対する環境省派遣者の帰国及び当該事故に対する環境省の対応について(御報告)(環境省) http://www.env.go.jp/press/108480.html 船舶>調査中の案件>概要(貨物船WAKASHIO乗揚)(運輸安全委員会) https://jtsb.mlit.go.jp/jtsb/ship/detail2.php?id=12753 Wakashio油流出事故に伴う緊急援助隊の支援(在モーリシャス日本大使館) https://www.mu.emb-japan.go.jp/itpr_ja/11_000001_00080.html	9/15、環境NGO・有識者との対話実施。10社・団体参加(商船三井) https://www.mol.co.jp/sustainability/incident/index.html	パナマ海事庁、モーリシャス座礁事故で調査報告。航行計画変更など明らかに https://www.jmd.co.jp/article.php?no=260865	モーリシャスへ調査団派遣 重油流出事故で運輸安全委(日本経済新聞) https://www.nikkei.com/article/DGXMZ064008680Y0A910C2CC1000/ モーリシャス座礁事故で事故調査官派遣 原因調査へ 運輸安全委(NHK) https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200918/k10012624811000.html モーリシャス重油流出事故で派遣の国際緊急援助隊 帰国へ(NHK) https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200918/k10012625981000.html		
9月19日(土)								
9月20日(日)								
9月21日(月)								
9月22日(火)								

日付	事象(事実)	モーリシャス政府発表	日本政府発表	船主等発表	日本国内報道(日本海事新聞)	日本国内報道(その他)	海外情報・報道	その他
9月23日(水)						<p>モーリシャス重油流出、海保職員が指導・助言(日本経済新聞) https://www.nikkei.com/article/DGXMZO64137350T20C20A9L82000/</p> <p>「黒子に徹し」油除去 海保隊長、現地支援語る—モーリシャス事故(時事ドットコム) https://www.jiji.com/jc/article?k=2020092300696</p> <p>重油事故のモーリシャスに見舞金＝静岡市 https://www.jiji.com/jc/tokushu?id=article_20200923chubu&g=tokyo2020_hosttown</p>		
9月24日(木)								